

2015年。
国民皆保険が
危ない！

さらなる患者負担増で
「入院できない」「受診
できない」

国保の運営が市町村から都道
府県になることで、地域のベ
ッドが削減され、保険料があ
がる!?

新たな混合診療「患者
申出療養（仮称）」で安
全性・有効性に疑問が
ある治療法が広がる

国民のいのちと安全まもれ 安心・安全の医療・介護を実現する シンポ

いつでも・どこでも・だれでも、保険証一枚で必要な医療が受けられる国民皆保険制度。しかし、政府は公的医療費を抑制するため、「国民皆保険制度」をおびやかす計画を 2015年の国会に提案しようとしています。今後の医療・介護制度改悪の動向を的確にとらえ、その具体化を許さない「安心の医療・介護大運動」を展開していきましょう。

●日時 9月23日（火・祝日）13時30分～16時30分

●会場 全国教育文化会館 エデュカス東京 大会議室7F

（東京メトロ有楽町線 麴町 徒歩 2分、都営新宿線 市ヶ谷 徒歩 7分、中央線 四ツ谷 徒歩 7分）



【基調講演】
医療制度改悪
の動向
芝田英昭さん
（立教大学教授）

【報告①】
国保の都道府
県単位化
寺内順子さん
（大阪社保協事務
局長）

【報告②】
患者申出療養
三浦清春さん
（保団連副会長）

【報告③】
地域医療ビジョン
・地域包括ケア
林 泰則さん
（民医連事務局次長）

【コーディネーター】
長友薫輝さん
（津市立三重
短期大学教授）